

中1

中学数学

ポイント

名前 _____

正負の数 乗法と除法

____ 月 ____ 日

ポイント 正負の数 乗法と除法

教科書 P.41~P.51

標準

符号は「同符号なら +、異符号なら -」と先に決めて、絶対値どうしをかける(わる)。

例

$$\begin{aligned}(1) & (-3) \times (+4) \\ &= -(3 \times 4) \\ &= -12\end{aligned}$$

$$(-3) \times (+4) = -(3 \times 4)$$

異符号 → 積の符号は -

$$\begin{aligned}(2) & (-3) \times (-4) \\ &= +(3 \times 4) \\ &= 12\end{aligned}$$

$$(-3) \times (-4) = +(3 \times 4)$$

同符号 → 積の符号は +

$$\begin{aligned}(3) & (-12) \div (+3) \\ &= -(12 \div 3) \\ &= -4\end{aligned}$$

$$(-12) \div (+3) = -(12 \div 3)$$

除法も符号の決め方は同じ

$$\begin{aligned}(4) & (-2)^3 \\ &= (-2) \times (-2) \times (-2) \\ &= -8\end{aligned}$$

$$(-2)^3 = (-2) \times (-2) \times (-2) \quad -2^3 = -(2 \times 2 \times 2)$$

負の数が奇数個なら -, 偶数個なら +。-2³ は 2³ に - がついたものの

$$\begin{aligned}(5) & (-2) \times (+3) \times (-5) \\ &= +(2 \times 3 \times 5) \\ &= 30\end{aligned}$$

$$(-2) \times (+3) \times (-5) = +(2 \times 3 \times 5)$$

負の数が2個(偶数個) → +

